

## 平成 29 年度 J A T E セミナーの開催模様

平成 29 年 11 月 30 日（木曜日）、主婦会館プラザエフ（千代田区）において、賛助会員の皆様を対象に、本年度の JATE セミナーを開催致しました。

近年、PSTN マイグレーションの検討具体化や、いわゆる IoT の導入に関わるダイナミックな動きに代表されるように、通信網・端末設備自体及びそれらを取りまく環境には大きな変化が生じています。そのような状況のもと、**通信行政政策当局及び電気通信基礎研究分野**から専門家をお招きし、ご講演を頂きました。



総務省 総合通信基盤局  
電気通信技術システム課長 荻原 直彦 様



日本電信電話株式会社 常務理事  
先端技術総合研究所 所長 佐藤 良明 様

**総務省 総合通信基盤局 電気通信技術システム課長 荻原直彦様**によるご講演 「ネットワークインフラに関する最新動向」では、ICT サービスが日常生活に深く浸透し、社会インフラとしてネットワークインフラの重要性がますます高まっている昨今の政策動向として、情報通信審議会等における PSTN（公衆交換電話網）の IP 網への移行に向けた検討状況、2030 年頃を見据え本年 7 月に報告書を取りまとめた「将来のネットワークインフラに関する研究会」において提起された技術課題、さらに、複雑化する通信事故の未然防止や豪雨等の自然災害に備えたネットワークの安全・信頼性を確保するための対策、ネットワークや端末設備の技術基準などの制度面の課題等について、ご紹介いただきました。

ご講演後に実施した皆様からのアンケートでは、

- ・将来のネットワークインフラに関して国としての取組を知ることができた
- ・最近のネットワークの全体像が非常によく理解できた
- ・今後の NW インフラに対する要件、課題を広く詳しく説明いただき参考になった
- ・通信インフラについても、電気・ガス等のように定期的な第三者による検査、確認する制度が必要だ
- ・通信機器を提供していく会社としてセキュリティ（サイバー攻撃）の担保、責任を持たないといけないと思った
- ・総務省の電気通信行政における幅広いホットな話題について取組動向を把握できた
- ・IOT への対応が準備されていることが大変参考になった

等、多くのご意見が寄せられております。

続いての

日本電信電話株式会社 常務理事 先端技術総合研究所 所長 佐藤良明様によるご講演 「イノベーションに向けた研究開発～NTT 先端総研の取組み～」では、昨今長期的な視点で考える研究開発にも効率が期待されており、実用化や商品開発にはプロジェクトマネジメントが注目されている一方で、今までにない技術シーズを生み出すべき基礎研究においては、確立されたプロセスが未だ存在しておらず、このため目先のアウトプットを求めると革新的な成果は期待できなくなり、ボトムアップだけに頼ると組織としての効率が悪くなるという相矛盾する課題を抱えている現状を打開するべく、イノベーションのシーズを生み出す最先端の基礎研究においてNTTが進めている7つの事例を、ご紹介頂きました。

ご講演後に実施した皆様からのアンケートでは、

- ・NTT 先端総研の幅広く奥深い研究内容を知ることができて良かった
- ・日本発の技術が世界一となる可能性を感じられた
- ・どの企業でも悩みになっている事に対して、アクティブに取り組む姿勢も参考になった
- ・「技術の本質」の重要性を改めて感じた
- ・仕事のヒントに使えるような気がする話をたくさん盛り込まれた講演で素晴らしかった
- ・新しい技術を新たな発想で考察し創造することが重要であることを再認識できた
- ・発想を広げるマネジメント、研究の幅を広げていくマネジメント、大変面白く拝聴した
- ・当社の商品開発で何故ブレイクスルーが得られないのかヒントをいただいた
- ・基礎研究の意味、役割について知ることができよかった

等、多くのご意見・ご感想をいただきました。

2時間半にわたるお二方のご講演でしたが、とても濃い内容でありながら明瞭にわかりやすくお話していただき、参加者の皆様も終始集中してじっくり聞き入っていらっしまったことが印象的でした。

当協会では、賛助会員の皆様から頂いたご感想・ご意見を参考にさせていただき、今後のセミナー開催に反映させてまいります。

なお、賛助会員の皆様には、賛助会員専用ページにて講演資料をご覧いただけます。